

北千葉道路(市川～鎌ヶ谷)直轄調査の状況

平成28年9月16日

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

北千葉道路の概要

- ◆ 北千葉道路は、首都圏(東京外環)と成田空港を連結する地域高規格道路(候補路線)。
- ◆ 整備により、国際競争力の強化、周辺道路の渋滞緩和による物流等の効率化などが期待される。

■北千葉道路 位置図



1. 北千葉道路に求められる機能

(1)成田国際空港等拠点への広域高速移動の強化

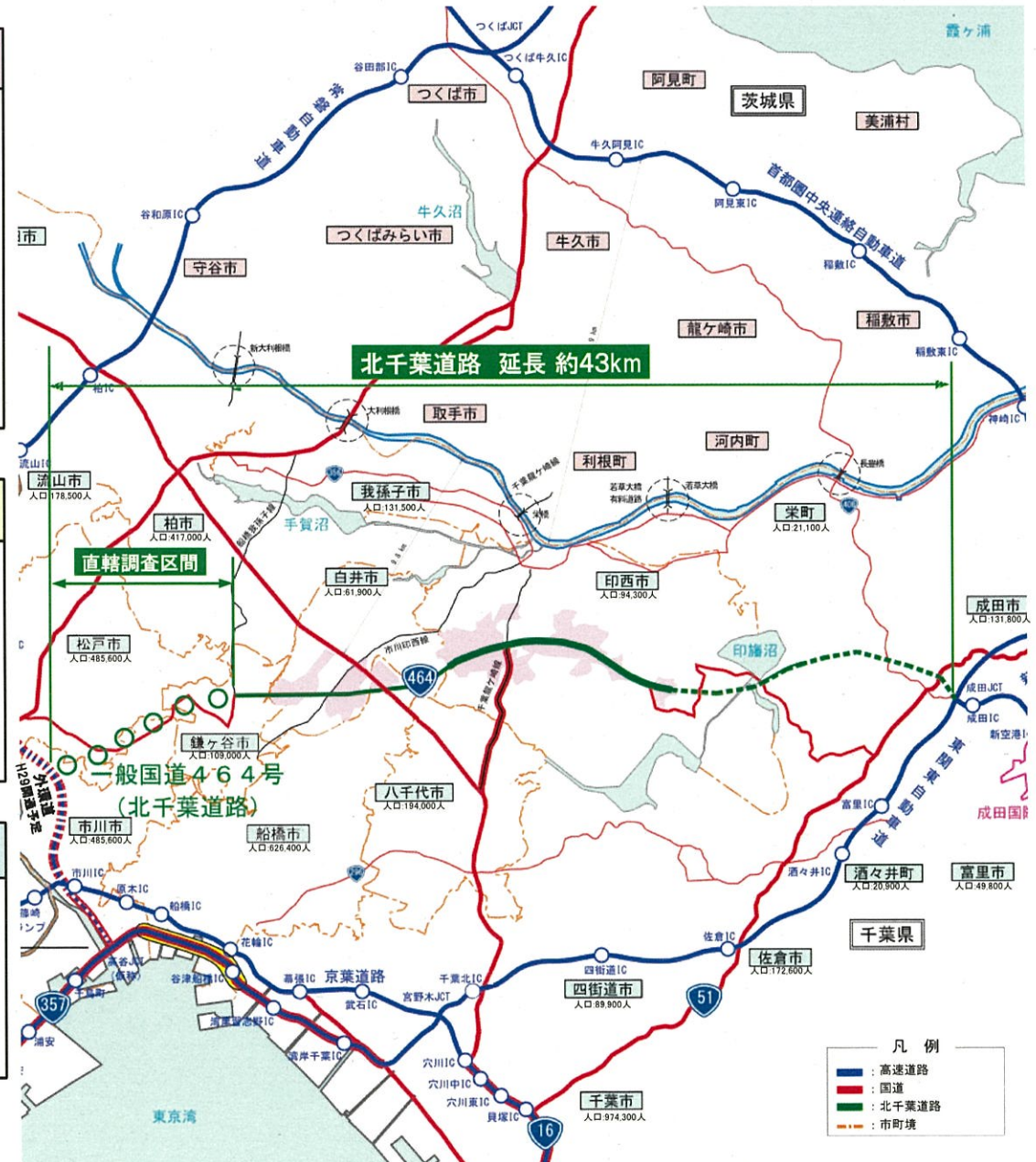
- 北千葉道路周辺は、高速道路ICへのアクセスが30分以上かかる空白地が存在。
- 成田・千葉ニュータウン地域は、業務核都市としての機能が期待されている地域だが、高速道路ネットワークからは孤立している状況。
- 千葉外環整備後には、都心からこれらの拠点を結びつつ、成田空港へ至る最短のアクセスルートとなる。(東関東道、京葉道路は渋滞が多発し、時間信頼性が低い)

(2)周辺道路の渋滞の緩和

- 東西方向の幹線道路が不足しており、現道464号も脆弱。
- 県道等も含め、多くの地点で渋滞が発生。
- 地域内だけでなく、地域外への交通も顕著。(内外、内々交通が7割以上)

(3)災害時の緊急輸送ネットワークの強化

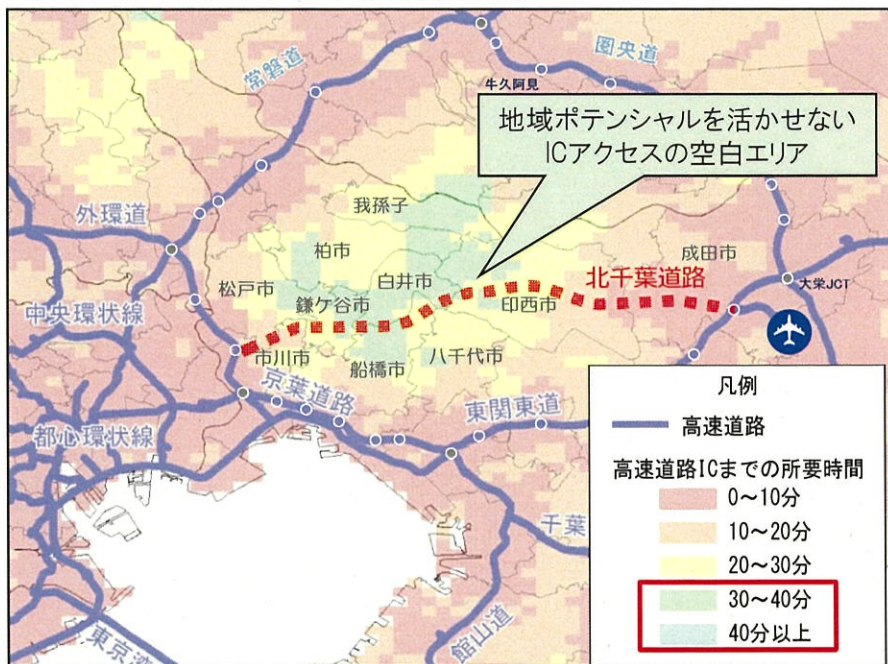
- 1次緊急輸送路となっている国道464号は、2車線しかなく緊急輸送路として脆弱。
- 首都圏への緊急物資を担う高規格ネットワークは、東関東道など湾岸部のみ。



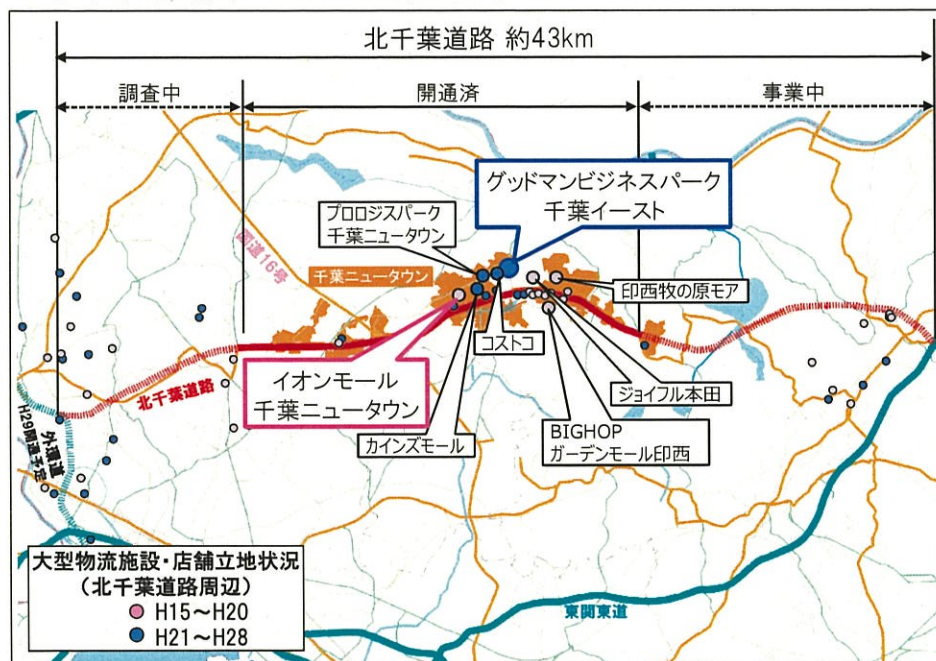
1. (1) 拠点への広域高速移動の強化 ～地域の都市機能の強化～

- ◆ 成田・千葉ニュータウン地域は、業務核都市として、首都圏における広域連携拠点の役割を担う地域。
- ◆ 高速道路ICまでのアクセス時間が長く、地域の機能強化のために広域高速移動の強化が必要。
- ◆ また、北千葉道路周辺は物流施設、商業施設等が多数立地しており、生産性の向上に期待。

■ ICアクセス時間(外環・圏央道開通後)



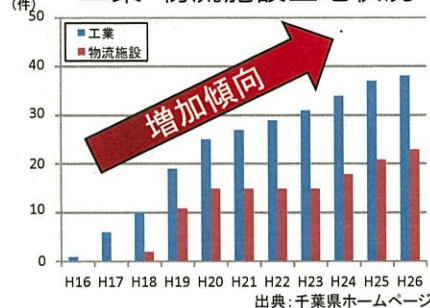
■ 北千葉道路周辺の主な企業立地状況



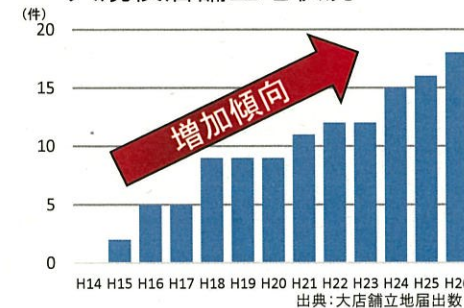
■ 千葉ニュータウンの大型物流施設・大規模店舗



■ 北千葉道路周辺の工業・物流施設立地状況

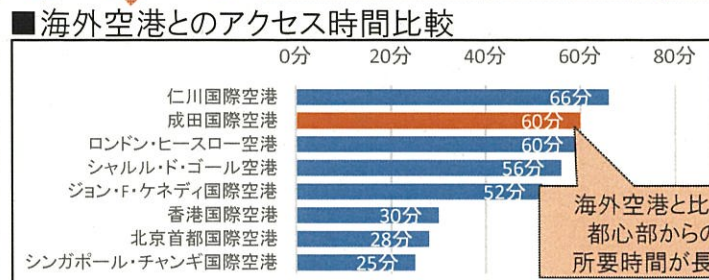
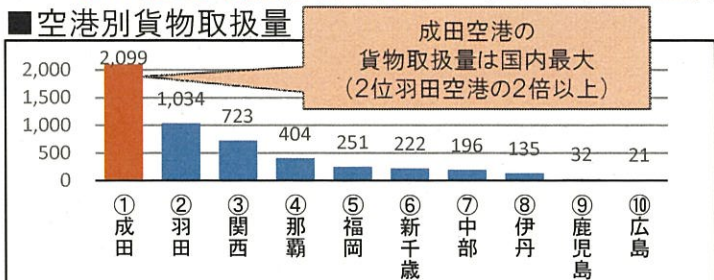


■ 北千葉道路周辺の大規模店舗立地状況



1. (1) 拠点への広域高速移動の強化 ～成田空港へのアクセス～

- ◆ 千葉外環整備後、北千葉道路は成田空港へのアクセスルートとして最短。
- ◆ 都心から成田空港への時間短縮効果に期待。



1.(2)周辺道路の渋滞の緩和

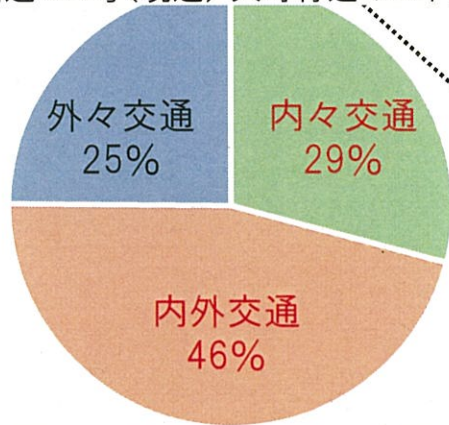
- ◆ 市川市～鎌ヶ谷市間は東西方向の幹線道路が脆弱。
- ◆ 国道464号及び並行する県道等は交通容量が不足しており、主要渋滞箇所が多数存在。
- ◆ 内々、内外交通が7割以上を占めており、新たな幹線道路が地域内に必要。

■周辺道路の渋滞状況



出典:平成27年度 首都圏の主要渋滞箇所(主要渋滞箇所) / フローデータ(H27.10)(終日混雑)

■国道464号(現道) 大町付近のOD内訳



内々・内外交通が交通量の7割以上を占める

※H17現況ODより集計
内々交通:北千葉エリア(松戸市(R6以南)・市川市(R14以北)・鎌ヶ谷市)内相互の交通



①国道464号 松戸隧道交差点付近
交差点を先頭に慢性的に渋滞



②国道464号 くぬぎ山交差点付近
上下方向ともに渋滞が多発



③国道464号 鎌ヶ谷市役所付近
地域の交通に大型車が混入

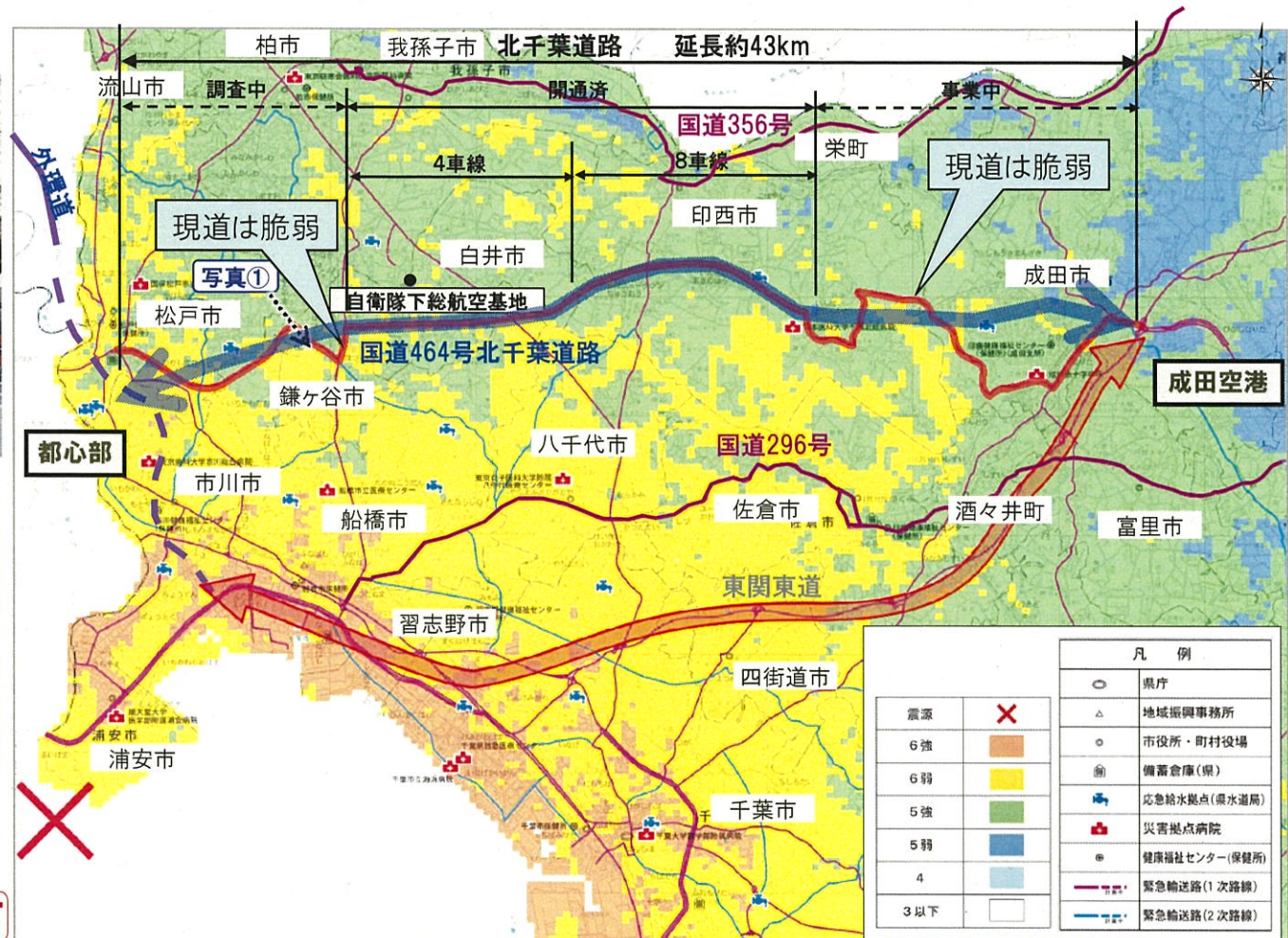
1. (3) 災害時の緊急輸送ネットワークの向上

- ◆ 1次緊急輸送路となっている国道464号及び並行する国道356号、国道296号とも2車線しかなく、いずれも緊急輸送路として脆弱。
- ◆ 千葉県地域防災計画に位置付けられている下総航空基地とのアクセスが強化され、首都圏の防災機能が向上。

■ 東京湾北部地震の想定震度分布図



DMAT



2. 北千葉道路(市川～鎌ヶ谷)の基本的な考え方

《基本構造に係る沿線市の主な意見》

H26.9.19第4回連絡調整会議資料より抜粋
(千葉県から沿線市への意見照会結果)

- 地域高規格道路としての連携・交流・連絡機能を十分満足する道路の早期整備
- 道路構造面から地域分断の影響が少ないように配慮が必要
- 必要な箇所に本線や副道への現道アクセスを設置してほしい

《直轄調査の視点》

H27.4.9関東地方整備局公表の
道路調査の見通しより抜粋

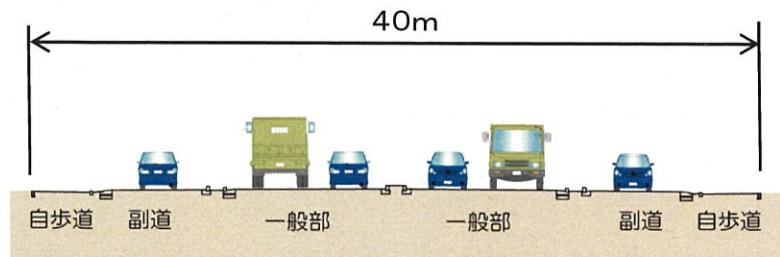
- 国際空港へのアクセスや周辺の高速度道路ネットワークを踏まえ、効果的・効率的な整備方法を検討



- 首都圏(東京外環)と成田空港を連結するため、規格の高い道路(自動車専用道路)が必要
- 地域道路の慢性的な渋滞を緩和するため、一般道路の併設が必要

3. 構造の見直しイメージ

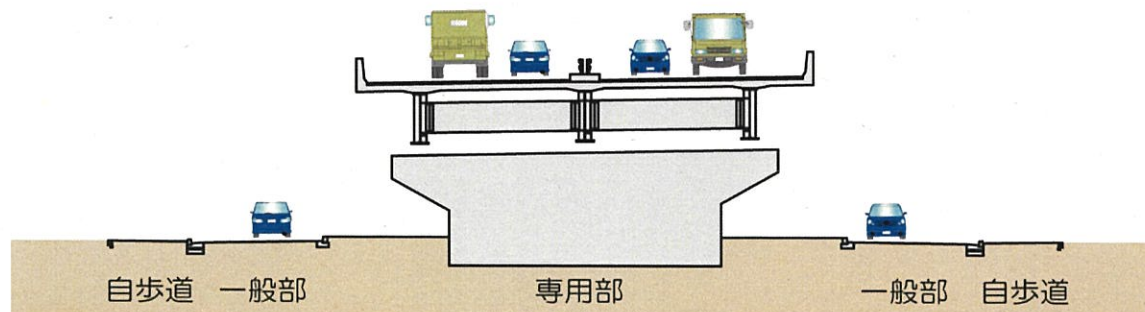
＜一般部のみの構造（現行の都市計画）＞



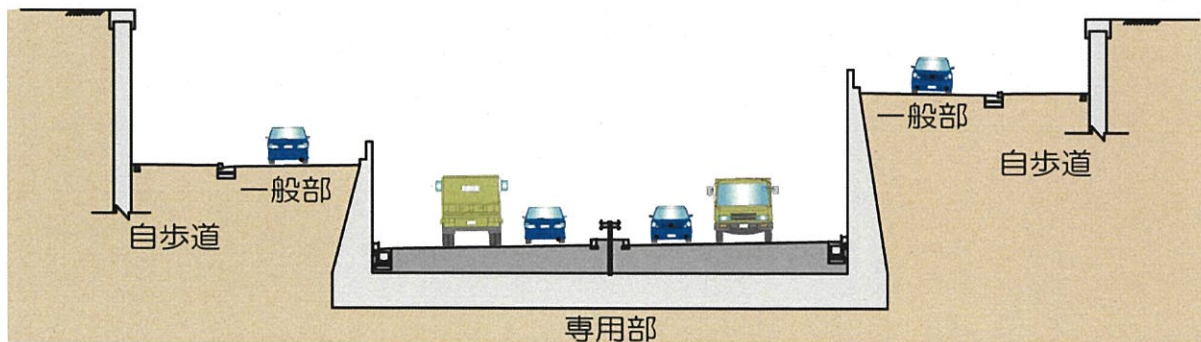
地表式

※現都市計画は車線数の記載無し

＜専用部と一般部を設置する場合の一般的な構造＞



高架式



掘割式

※今後の検討により変更となる場合がある 8

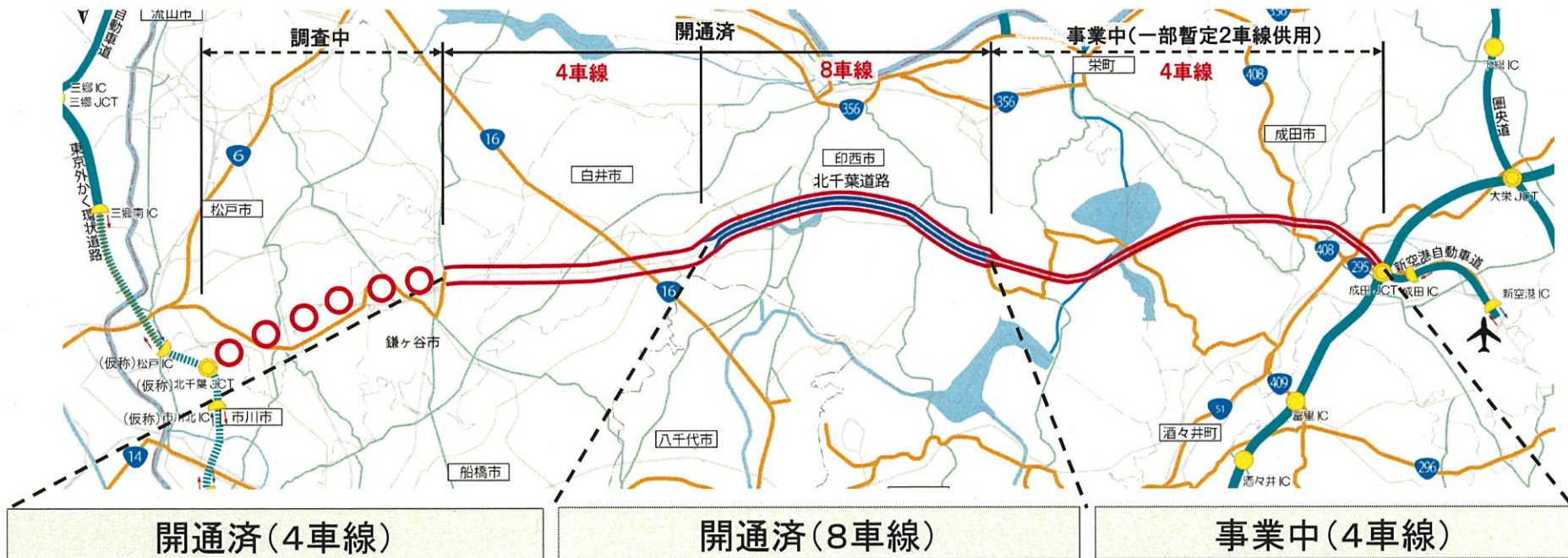
4. 今後の検討課題

- 北千葉道路(市川～鎌ヶ谷)の各構造の適用範囲
- 専用部と一般部の連結位置
- 鎌ヶ谷以東の構造
- 整備手法

等

※国、千葉県、沿線市で連携し、地域との合意形成を進めながら実施

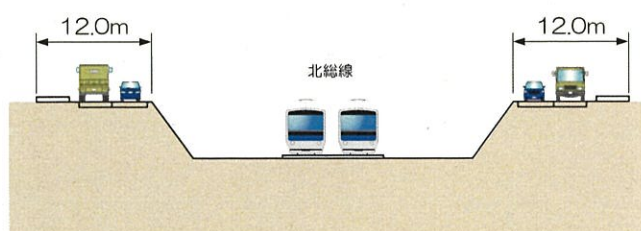
(参考)北千葉道路(鎌ヶ谷以東)の状況



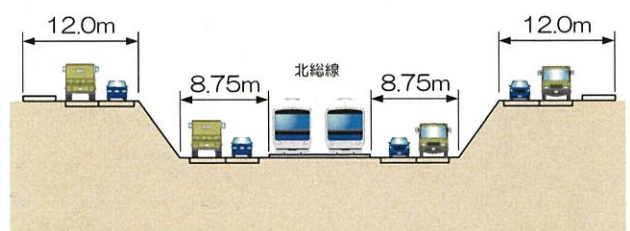
開通済(4車線)

開通済(8車線)

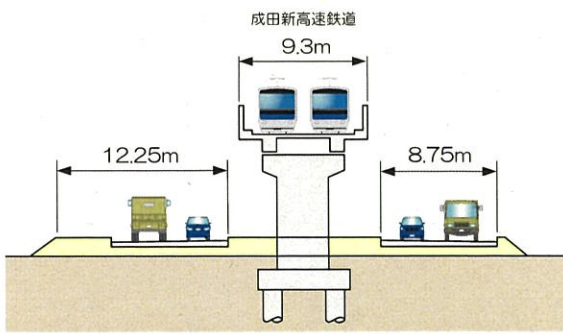
事業中(4車線)



・右折専用車線なし



・8車線で整備済み
・右折専用車線なし



・事業中(一部暫定2車線供用中)